

コミュニティ・スクール推進構想 ～1年次 推進委員会の任務から～

京丹後市教育委員会

任命
指導
助言



説明

地域・保護者

意見
評価

調査研究の経過（1年次）

- 5月 第1回推進事業委員会（調査研究方針・計画）
- 6月 第1回京都府連絡協議会（調査研究計画の交流・研究協議）
- 7月 第2回推進事業委員会（1学期取組評価・推進委員の人選）
- 8月 平成21年度推進協議会【徳島会場】（各地域の学校運営協議会制度の取組）
第3回推進事業委員会（2学期取組計画・第1回推進委員会準備）
- 9月 第1回推進委員会（趣旨説明・体制の確認・年間計画の確認）
- 11月 第4回推進事業委員会（第2回推進委員会準備）
- 12月 第2回推進委員会（2学期学校評価・2学期取組評価）
第5回推進事業委員会（2学期取組評価・3学期取組計画）
- 1月 第2回京都府連絡協議会（調査研究校の取組交流・研究協議）
- 2月 第6回推進事業委員会（第3回推進委員会準備）
- 3月 第3回推進委員会（年度学校評価・1年次の評価・2年次に向けた提言）

成果

調査研究のまとめ（1年次）

1. 校内の組織体制づくりに関わって、校務分掌にコミュニティ・スクール推進事業委員会を新設し、組織的に研究推進計画に基づくコミュニティ・スクール推進委員会の運営、具体的な調査研究の進行管理を行うことができた。
2. 学期に1回のコミュニティ・スクール推進委員会を開催し、地域の教育資源の発掘、生かし方についての助言や、学校教育活動の充実に係る地域連携の在り方についての助言を受けることができ、学校教育を充実させるための地域社会との連携の在り方を探り、支援関係づくりを進めることができた。
3. コミュニティ・スクール推進委員会で、学校教育に関わる評価を受けることにより、学校改善に向けた開かれた学校づくりを進めるための学校運営の在り方・方法を探ることができた。
4. 地域の教育資源（人的・環境的・産業的・文化的）発掘と活用の充実を図る過程において、地域との支援関係づくりを進めることができ、その結果として、地域素材・人材を活用した教育活動の充実を図ることができた。
5. 地域ぐるみの学校教育推進の意義について共通理解を図るための「橋小・コミュニティだより」を発行することができた。

課題

1. さらに地域ぐるみの教育を充実させるために、コミュニティ・スクール推進事業委員会の機能（企画力・連携力・推進力）を高める。
2. コミュニティ・スクール推進委員会で、地域社会との連携の在り方、支援関係づくりの進め方に関しての有効な助言や外部評価を充実させていくために、コミュニティ・スクール推進委員がさらに教育活動状況を把握できるように、教育活動参観方法、情報発信内容の工夫を行う。
3. 地域との支援関係づくりを充実させ、さらに地域の教育資源（人的・環境的・産業的・文化的）を発掘し、教育活動の充実に向けた活用を図る。
4. 研究の成果の波及効果を高めるために、広報活動を充実させる。

終わりに

ここに、1年次の調査研究を終えるにあたり、研究の中間点としての成果と課題を「研究の中間まとめリーフレット」として整理しました。

コミュニティ・スクールの実施に向けて、「学校と地域の関係の在り方と仕組」を再構築していくための方策を探るため、引き続き調査研究を推進していきたいと考えています。

結びにあたり、本校の研究の推進・充実につきまして、格別にご指導とご支援をいただきました京都府丹後教育局・京丹後市教育委員会指導主事様をはじめ、関係各位に心から厚くお礼申し上げます。

平成22年3月

京丹後市立橋小学校
校長 寺田 秀明